



# 山形県感染症発生動向調査

平成28年第16週(4月18日～4月24日)

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)  
 TEL.023-627-1109, FAX023-641-7486  
 URL <http://www.eiken.yamagata.yamagata.jp/>  
 2016年4月26日 発行

## <定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

※     :警報レベル

    :注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県)
	第15週	第15週	第16週	増減	第15週	第16週	増減	第15週	第16週	増減	第15週	第16週	増減	第15週	第16週	増減	
<b>インフルエンザ定点</b> (定点医療機関数)		(48)			(20)			(5)			(10)			(13)			
インフルエンザ	25007 5.06	509 10.83	454 9.46	▽	212 10.60	216 10.80	△	46 9.20	28 5.60	▽	148 14.80	135 13.50	▽	103 8.58	75 5.77	▽	13322
<b>小児科定点</b> (定点医療機関数)		(30)			(13)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	633 0.2	1 0.03	1 0.03								1 0.17	1 0.17					39
咽頭結膜熱	841 0.27	11 0.38	14 0.47	▲	5 0.38	9 0.69	▲	1 0.33	1 0.33		5 0.83	2 0.33	▽		2 0.25	△	193
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	7238 2.3	174 6.00	186 6.20	▲	115 8.85	120 9.23	▲	6 2.00	7 2.33	▲	34 5.67	36 6.00	▲	19 2.71	23 2.88	▲	3136
感染性胃腸炎	18257 5.79	167 5.76	181 6.03	▲	61 4.69	79 6.08	△	11 3.67	8 2.67	▽	49 8.17	47 7.83	▼	46 6.57	47 5.88	▽	3918
水痘	945 0.3	2 0.07	2 0.07		1 0.08	2 0.15	△							1 0.14		▽	208
手足口病	107 0.03																11
伝染性紅斑	1155 0.37	43 1.48	40 1.33	▼	14 1.08	11 0.85	▽	1 0.33	3 1.00	△	5 0.83	5 0.83		23 3.29	21 2.83	▽	1018
突発性発しん	1502 0.48	13 0.45	35 1.17	△	5 0.38	8 0.62	△				4 0.67	16 2.67	△	4 0.57	11 1.38	△	297
百日咳	48 0.02		3 0.10	△		2 0.15	△					1 0.17	△				6
ヘルパンギーナ	116 0.04																
流行性耳下腺炎	2589 0.82	97 3.34	48 1.60	▽		4 0.31	△	6 2.00	6 2.00		76 12.67	35 5.83	▽	15 2.14	3 0.38	▽	976
<b>眼科定点</b> (定点医療機関数)		(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	6 0.01																
流行性角結膜炎	381 0.55	1 0.13	1 0.13			1 0.25	△	1 1.00		▽							13
<b>基幹定点</b> (定点医療機関数)		(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	340 0.72	1 0.10		▽	1 0.25		▽										6
クラミジア肺炎	6 0.01																4
マイコプラズマ肺炎	144 0.31	2 0.20		▽	1 0.25		▽							1 0.33		▽	37
細菌性髄膜炎	8 0.02		1 0.10	△											1 0.33	△	1
無菌性髄膜炎	20 0.04																4

## <全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
結核	患者	1		2	1	
A型肝炎	患者			1		
侵襲性肺炎球菌感染症	患者				1	肺炎球菌ワクチン接種歴:不明

## <通信欄>

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

<定点把握感染症 報告患者数 年齢別>

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ		9	10	17	25	34	56	39	30	39	24	78	26	7	
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									合計
	20	16	6	11	2	5									454
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症			1												1
咽頭結膜熱		1	7	3	2							1			14
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			6	14	25	36	28	21	18	5	8	15	5	5	186
感染性胃腸炎	2	24	24	21	22	17	16	15	4	9	8	14	2	3	181
水痘					2										2
手足口病															
伝染性紅斑				3	3	7	12	7	1	3	3	1			40
突発性発しん		18	16	1											35
百日咳			1	1										1	3
ヘルパンギーナ															
流行性耳下腺炎			1	3	10	9	4	4	7	4	2	3		1	48

<平成28年3月 月報>

2016年4月19日 更新

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～3月	
	2月	3月	2月	3月	2月	3月	2月	3月	2月	3月		
<b>STD定点</b> (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
性器クラミジア感染症	報告数	20	18	4	4	11	14	3		2		55
	定点当り	2.00	1.80	1.00	1.00	11.00	14.00	1.50		0.67		
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	2	6		3		2	2	1			12
	定点当り	0.20	0.60		0.75		2.00	1.00	0.50			
尖圭コンジローマ	報告数	2	7		2	1		1	2		3	11
	定点当り	0.20	0.70		0.50	1.00		0.50	1.00		1.00	
淋菌感染症	報告数	1	2	1	1						1	4
	定点当り	0.10	0.20	0.25	0.25						0.33	
<b>基幹定点</b> (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	4	5	1	1	1	1			2	3	18
	定点当り	0.40	0.50	0.25	0.25	1.00	1.00			0.67	1.00	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	14	27	9	6	1	1	1	3	3	17	62
	定点当り	1.40	2.70	2.25	1.50	1.00	1.00	0.50	1.50	1.00	5.67	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数											
	定点当り											

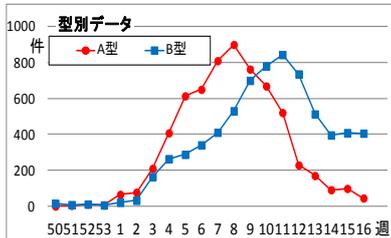
<トピックス>

【インフルエンザ情報】

インフルエンザの第16週の県全体の定点当たり報告数は9.5人で、警報レベルの終息基準値を下回りました。村山地区と置賜地区の警報レベルは継続中です。

(警報開始基準値:30人 警報終息基準値:10人 注意報基準値:10人)

1 迅速診断キットによるインフルエンザウイルスの陽性件数(第16週)



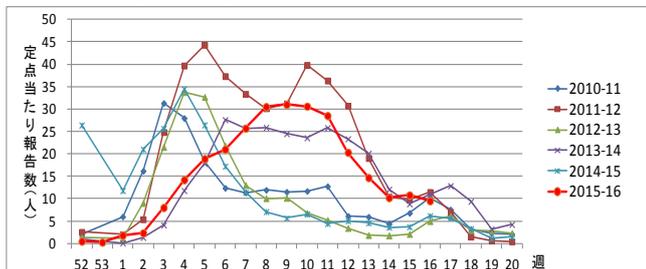
	A型	B型
村山	7	206
最上	10	18
置賜	20	115
庄内	8	67
合計	45	406

※型別不明:3件

2 集団発生状況 (県健康福祉企画課まとめ 第16週)

- 村山地区:5施設(保育所1、小学校1、中学校1、高校2)
- 置賜地区:4施設(保育所2、小学校1、高校1)
- 庄内地区:2施設(小学校1、障がい者支援施設1)

3 定点あたり報告数の推移(過去5シーズンとの比較)



【流行性耳下腺炎】

流行性耳下腺炎の定点当たり報告数が、置賜地区で第10週から継続して警報レベルで推移しています。

・流行性耳下腺炎
警報開始基準値:6人 警報終息基準値:2人
注意報基準値:3人
・第16週定点当たり報告数
村山:0.3人 最上:2.0人 置賜:5.8人 庄内:0.4人

流行性耳下腺炎とは

片側あるいは両側の唾液腺(あご周辺)の腫れを特徴とするウイルス感染症で、おたふくかぜとも呼ばれています。

【症状】

基本的には軽症で済みます。2～3週間の潜伏期(平均18日前後)を経て、唾液腺の腫脹・圧痛、嚥下痛、発熱を主症状として発症し、通常1～2週間で軽快します。まれに髄膜炎、髄膜脳炎、睾丸炎、卵巣炎、難聴などの合併症を認める場合があります。

【予防法】

流行性耳下腺炎は接触あるいは飛沫感染で伝播しますが、その感染力はかなり強いです。また、感染しても症状が現れない不顕性感染もかなりみられます。効果的に予防するにはワクチンが唯一の方法であり、接種者の罹患率は1～3%であったとの報告があります。

※参考URL: IDWR 感染症の話 流行性耳下腺炎(ムンプス、おたふくかぜ)  
http://idsc.nih.gov.jp/idwr/kansen/k03/k03\_35.html